

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第2部門第2区分

【発行日】平成20年8月14日(2008.8.14)

【公開番号】特開2002-172453(P2002-172453A)

【公開日】平成14年6月18日(2002.6.18)

【出願番号】特願2001-272271(P2001-272271)

【国際特許分類】

B 2 2 D	11/128	(2006.01)
B 2 2 D	11/12	(2006.01)
B 6 5 G	39/00	(2006.01)
F 1 6 C	13/00	(2006.01)
F 2 7 B	9/24	(2006.01)

【F I】

B 2 2 D	11/128	3 4 0 C
B 2 2 D	11/128	3 4 0 D
B 2 2 D	11/12	C
B 2 2 D	11/12	D
B 6 5 G	39/00	Z
F 1 6 C	13/00	C
F 2 7 B	9/24	R

【手続補正書】

【提出日】平成20年7月2日(2008.7.2)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】請求項1

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項1】回転駆動可能に炉の外方に支承された軸(3)を有し、内方に位置する冷却材ダクト(4、5)と、収容孔(1)によって軸(3)上に配設されて搬送平面を形成する担持リング(7)とを備えた、ローラハース-加熱炉によって、搬送物、例えば連続鋳造材料を搬送するための水冷可能なファーネスローラにおいて、

接触面は、担持リング(7)の収容孔(1)の内径に及び又は軸(3)の外径に殆ど一定の直径の嵌合面(6、6')を備えたポリゴン輪郭の形でいわゆる弱いオーバーラップとして形成されていることを特徴とする前記ファーネスローラ。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】請求項8

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項8】一定の直径を有するポリゴン輪郭として形成されたオーバーラップが、担持リング(7)の収容孔(1)の内径における接触面と軸(3)の外径との間の狭い嵌合公差を有し、回転トルクの伝達のための担持リング(7)と軸(3)との間のねじれが比較的著しい弹性-塑性変形に繋がることを特徴とする請求項1から7までのうちのいずれか1つに記載のファーネスローラ。

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0005

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0005】

ローラハースファーネスにおける搬送ローラは、水冷部を備えることができ又は冷却装置なしにもいわゆる乾式ローラとして配設されることができる。